

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

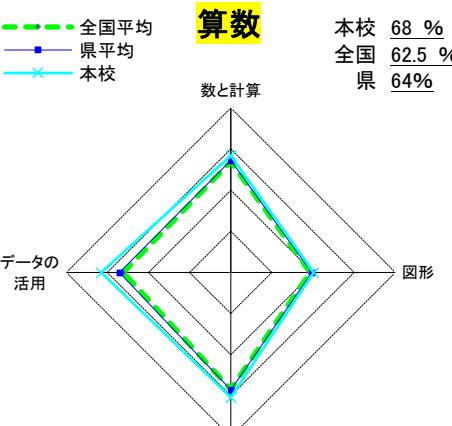
吳市立阿賀小学校
(阿賀中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+7.8	+5.5
令和4年度	+5.4	+4.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

 <p>算数</p> <table border="1"> <tr> <td>本校 68 %</td> <td>全国 62.5 %</td> <td>県 64%</td> </tr> </table> <p>数と計算、図形、変化と関係、データの活用</p>	本校 68 %	全国 62.5 %	県 64%	<p>◎底辺の長さと高さが等しいが、形の異なる三角形の大小を比較することに課題がある。（設問2（4））【図形】(正答率21.5%，無回答3.8%)</p> <p>◎日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること（分配法則）に課題がある。設問3（4）【数と計算】(正答率46.8%，無回答1.3%)</p> <p>◇条件を変えた場合に、事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。（設問9（2））【図形】(正答率38.8%)</p> <p>◎授業等における制限する、搖さぶる、確かめさせることを積み重ね、解き方、法則、概念等の本質をしっかりと理解した上で学習課題の解決に向かわせる。</p> <p>◎除法の筆算について、図と関連付けて考察させる。関係図や数直線を大切に指導する。位を継続的に指導していく。また、計算の力は、徹底して付けておく。</p> <p>◇解決された問題の条件を変えるなど、新たな問題を見いだして、その特徴を数学的な表現を用いて説明する機会を設定する。</p> <p>◎全国学力（設問3（4））（第5・6学年）（1月）目標75%→結果91.1% 標準学力調査（各学年）（12月）目標 全国平均+3%→結果+22.6% ◇全国学力（設問9（2））の問題（第9学年、1月）目標45%→結果58%</p>
本校 68 %	全国 62.5 %	県 64%		

【来年度に向けて】国語科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、適切に漢字を用いるよう指導する。

対話やタブレットを効果的に活用し、解き方や考え方を説明し合い、学力の向上を図る。

授業のまとめなど、条件に合わせて書く指導を行い、大切なことを短く書く活動を取り入れていく。